

# はと 鳩の峯

No. 45  
2017  
10.1

平成29年10月1日



## 主な内容

高浜歴史文化……………	2P
高浜精霊流し……………	2P
一斉避難訓練……………	2P
連載……………	3P
虫追い祭り……………	3P
高浜八幡宮秋季例大祭…	3P
東京高浜会……………	3P
高浜ブドウ……………	4P
故郷に生きる……………	4P
編集後記……………	4P

## 夏の思い出

夏の終わりに、若い2人が束の間の休日に高浜を訪れてくれた模様。白鶴浜を散策、築港で釣りと澄み渡る青い空と海を満喫していました。

夫婦2人とも高浜は初めてらしく、こんなすばらしい自然が天草にあるのだとしっかり目に焼きつけて再訪の言葉を残して、帰路に着きました。

## 高浜歴史文化



講演の東先生

前回より鳩の峯に寄稿文を連載して頂いている京都府立大学の東昇先生をお願いして高浜歴史文化講演会が開催されました。

江戸時代の高浜村の年中行事を東先生が20年来研究された、上田家の古文書より慶應時代、文化、文政時代の内容などを比較しながら、高浜村の各迫まつり、虫追い祭、お盆と精霊流し等、絵地図を使い解かりやすいお話をされました。1時間半東先生の講演に30数名の方々が話に引き込まれた。高浜地区の身近な地名等が出て盛況な講演会でまた次回を希望される声が聞かれた今回の講演会でした。

## 高浜精霊流し

8月15日、朝からの雷雨で天候が心配されましたが、精霊流しが行われました。初盆を迎えた各家から手作りの舟を担いで街中を練り歩き、夕暮れ時にはあちらこちらから掛け声と爆竹が鳴り響き、賑やかに故人を送り出していました。



先祖の墓所へ参詣



道中賑やかに

## 一斉避難訓練

9月3日高浜地区でも一斉避難訓練が実施されました。高浜地区コミュニティセンター以外でも、内野公民館、志賀神社、十五社宮、白木公民館、隣峰寺、旧役場跡地を各地区の避難場所として、避難訓練を実施しました。消防3分団も積載車で広報活動を行いました。なお、訓練避難者は、230人でした。避難終了後、高浜コミセンで西天草分署から講師を派遣いただき防災講話を実施しました。地震から身を守る体験談や避難準備情報や避難勧告の違いなどの講話がありました。



防災講話



志賀様へ避難



お寺へ避難



松下区避難完了

# 連載

その②

江戸時代の高浜の歴史を研究されている、京都府立大学文学部歴史学科の東昇先生の連載を始めます。今回は『亥の子』についてです。

亥の子  
10月の年中行事として、西日本を中心に宮廷行事の亥猪につながる亥の子があります。前回と同じ江戸時代の史料の内、1813年頃には、神酒・餅を神前に供えると簡略です。1868年には、各家で餅を搗き、神棚へ神酒・餅、先祖の霊屋へ餅を供えます。また15歳以下の子供は、亥子餅と唱え丸石を縄でからげ四方に長縄をつけ、家々門口に招かれます。そして唱え言をしてお祝いすると、餅を1・2個もらえるとというものです。『天草町郷土誌』によると、明治期までは、正月ドンのはじまりといって餅を搗き、大正期には餅とダゴを作って祝うだけになった、亥の子の歌は「今夜ハ正月ドンノ初マリ、今夜ハ亥ノ子、亥ノ子餅ツイテ祝ウ…」とあります。私の出身愛媛県でも「お亥の子さん」といって、高浜と同じく子供が地面を打ちますが、歌は「お亥の子さん」という人は、一に俵をふんまいて…」と違って見えてはいかがでしょうか。

## 虫追い祭り

梅雨の晴れ間に豊作を祈願する虫追い祭が、6月25日に行われしました。高浜八幡宮での神事が終わる明け方までの雨も止み行列を行うことになりました。行列の先頭には4メートルほどの竹の先に五穀を表わす、赤・黄・青・白・緑の五色の旗が風になびき、虫を追い払うとされる、ほら貝・かね・太鼓の音はのどかに広がる稲田に響きました。道中は、稲が順調に育つようにお払いと御幣を立て豊作を願いました。最後は高浜川で虫が流したとされる五色の旗を洗い流し、五穀豊穡を願いました。



参加の皆さん

## 高浜八幡宮秋季例大祭



力強い奉納

9月10日に恒例の高浜八幡宮秋季例大祭が開催されました。今年はお獅子として、安田充彦さん、凌親子が獅子舞踊りを、また太鼓打ちとして諏訪から、松尾愁君、黒沢睦君が爽やかにデビューしました。2組とも大変お疲れ様でした。



祭りを終えて

## 遠くのふるさと 東京高浜会

田中 光徳

6月18日東京高浜会が行われた。昨年同様100名近くの参加者でした。高浜のブドウ生産活動の報告、ふるさと納税の促進と高浜ブドウの現況と、今後高浜地区振興会への応援をお願いしてまいりました。年代、世代ごとに紹介があり、カラオケもあって、盛会でした。東京高浜会会長町村様より高浜地区振興会へ、参加された方々より応援金も贈呈してもらい、私も今回は高浜会の皆様に元気をもたらす、本当にお世話になりました。



今年古希を迎える同窓会の紹介風景

温かい善意のご寄付  
ありがとうございます

寄付金は高浜地区振興会の活動  
に有効に活用させていただきます。

### 香典返し

大脇 金継様  
(故・大脇ミツエ様) 中向



### ふるさと応援寄付金

脇田 和弘様 (長崎県)  
脇田 チツ子様 (長崎県)

## 高浜地区

(平成29年8月31日現在)

人口 1,193人  
男 546人  
女 647人  
世帯数 624戸

高齢化率(65歳以上)  
595人(49.9%)

# 高浜ブドウ

〜収穫〜 田中光徳

早朝から選別



子どもたちの収穫



振興会が今年手入れた高浜コミセンの横に初めてタワワに実り、高浜子供会の8名に初めてのブドウ収穫体験をしてもらい、子供たちに喜んで収穫してもらいました。

ここまで来るにはブドウ班の試行錯誤の連続でありました。収穫体験が出来るところまで来ましたのは、皆さんの努力があり、やっとな実になったのでしょうか。

これからも色々な方々のご指導を頂きながら少しずつ生産が増えて、高浜の人達もブドウ収穫体験ができる様にコツコツと取り組んで行こうと、思いを強くした収穫祭でした。

## 故郷に生きる

【第3弾】



松尾 昇さん

今年5月から便利屋を初めました。元々整備士をしていて、車、バイク等の乗り物から草刈り機等の小型のエンジン、機械類の修理、メンテナンスが得意です。他にも色々出来る事は有りますが、近年、高齢の方が多くなり身の回りのちょっとした困り事、例えば家の中を整理したいけど物が重くて移動する事が出来ない雨戸を閉めたいけど出来ない等自分の手がとどかない所を手助けしたいと思い、便利屋を初めました。皆さんの日常のかゆい所を気軽にご相談下さい。これからどんどん、仕事を増やして行ければ、少しでも雇用が増えて地域の活性にも繋げて行けると思いますので、力不足では有りますが、頑張つて行きたいと思えます。

## 編集後記

今年も恒例の「精霊流し」がありました。各家を出発した精霊舟は、「チンチン・カンカン・ドーいどい」と掛け声を響かせ中向交差点まで来ると、そこで3、4度旋回し賑やかに港へと集結していきます。それも爆竹の音をけたたましく鳴らしながら。

近年は、昔と違って舟は流さなくなりましたが、精霊流しが伝統行事として続いて行つて欲しいと願う声を聞きます。

私もこの盆の行事が例え縮小されたとしても、高浜の夏の「風物詩」として残していけたらと思います。

ところで、夏も終りに近づいてます。朝夕は幾分涼しさが増してきました。秋の風物詩でしょうか「台風」も今年は天草には大した被害をもたらすことがありませんでした。(被害を蒙った地域の方には申し訳ありませんが)ただ秋の台風にも注意が必要です。健康にも注意していい秋を迎えたいものです。